～夢・未来へ～
町民と議会をつなぐ

第102号
令和6年7月17日

河津町議会だより

令和6年
12月 3月 9月 6月
定例会毎に発行

フッ素洗口をする１・２年生

P. 2～P. 3　河中３年生に聞きました
▶アンケート結果報告
P. 4～P. 5　第２回定例会
P. 6～P.11　町政を問う
▶一般質問（６人）
P.12　常任委員会活動・月例会
P.13　議会改革特別委員会
▶委員会の活動
P.14　議会のうごき・一部事務組合
P.16　私の一言
▶河津町商工会　会長／土屋　典之
▶学校歯科医　中村屋歯科医院／中村　清徳

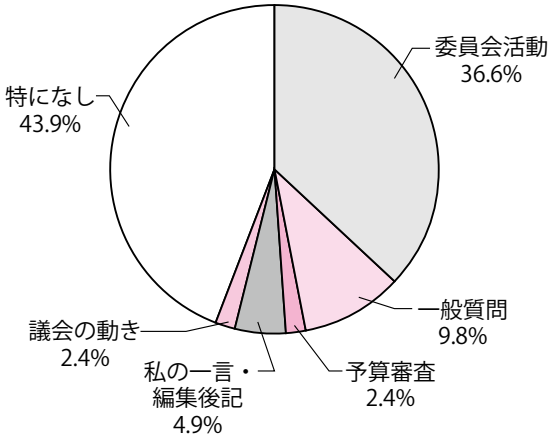
YouTube で
議会映像配信中

河津町議会
WEBサイト

河中３年生に聞きました

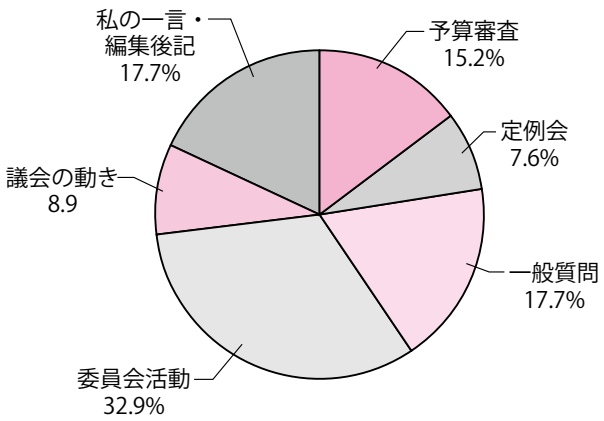
河津町議会では議会改革を進める中で、広報の重要さを再認識し、さらに若い町民の皆さまに議会活動を知っていただくため、３年後に主権として選挙権をもつ未来を担う河津中学校３年生 43 名に３月の定例会の内容を記載した「議会だより１０１号」を読んでいただき議会広報紙についてアンケートを行い41名から回答をいただきました。

Q２「興味を引いた」あるいは「役に立った」記事は？



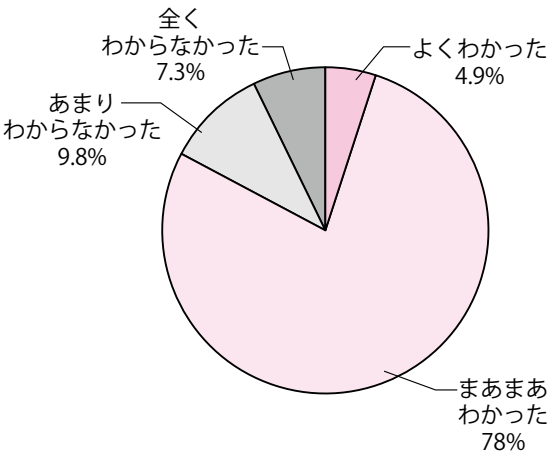
・中学生自身が委員会活動を校内で行っているせいか委員会活動への関心が高かった。また特に興味がないといった意見も多い。細かな内容では身近な話題に関心があった。

Q１「議会だより」の記事で目を通したものは？（複数回答　可）



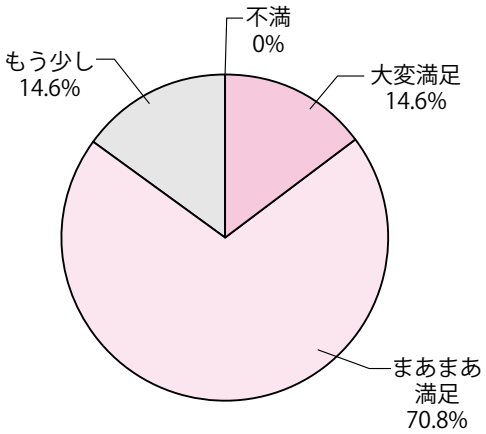
・おおむね全体に目を通していただいている。定例会については議案について身近な解説が必要かも？

Q４「議会の活動内容について、伝わりましたか？（４段階）



・ほぼ伝えることができている。

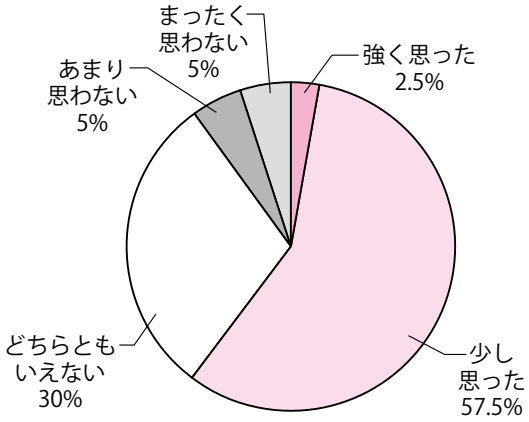
Q３「議会だより」に対する満足度は、どのくらいですか？（４段階）



・おおむね満足できている。

このアンケートを通じ、３年後に選挙権をもつ皆さまに町政への関心を持ってもらえたと思います。若い人の意見を参考に「わかりやすさ」「身近さ」を感じることができる広報紙を目指します。

Q５ 河津町の政治にもっと関心を持つべきと思いましたか？（５段階）



・町政に関心をもつきっかけになったのかな。

Q６ 将来河津町がこんな町なら住みたいと思うことをお聞かせください。（記述式）

●町の雰囲気に関する意見
・住みやすい町
・幸せに暮らせる町
・人が多い町
・栄えている町
・助け合える町
・ほのぼのとした町
・祭りが賑やかな町

●環境等の意見
・自然がたくさんある町
・桜の保護が活発な町
・川がきれい

●行政に関すること
・インフラの充実した町
・防災対策の強化
・交通の便が良い
・少子高齢化が改善したらよい

●都市機能
・コンビニが増えてほしい
・本屋、映画館がほしい
・大きな店がある
・道の駅の設置
・名所がある
・ショッピングモール
・店が多い
・ゲームセンターがある
・建物が多い

Q７ 議会だよりを身近に感じてもらうために本紙の名称変更を検討しています。参考にしたいので、良いネーミングを考えてください。（記述式）

●町の名前を用いた名
・かわづ
・河津だより
・河津町だより
・大満足河津町
・未来の河津

●議会の名前を用いた名
・議会だより
・河津議会だより
・河津議会のおたより
・議会おたより
・議会だよ～！

●河津桜にまつわる名
・さくら通信
・さくらだより
・桜だより
・河津桜
・河津桜だより

●内容からの名
・話し合いの紙
・話し合いの場

●英語の名
・The My town
・The meeting in kawazu
・Capital
などでした。

アンケートにお答えいただいた皆さま、ありがとうございました。

令和６年第２回町議会定例会（抜粋）

令和６年第２回定例会が６月４日、５日の２日間の日程で開催された。承認案件５件、報告案件１件、条例案件６件、単行決議案件３件、規約案件１件、補正予算５件の21議案を集中審議し、全て承認可決した。

可決された議案（抜粋）

●令和５年度の一般会計補正予算（専決）

・歳入歳出それぞれ3360万6千円を減額した。主な要因は、町道補修、橋梁長寿命化等の事業確定による。また、社会福祉費として、住民税非課税世帯等臨時特別給付金追加給付事業として667万8千円の繰越明許費の補正追加を承認。

●令和５年度 繰越明許費

・給与、住民税、戸籍、番号制度対応の各システム改修や防災拠点整備、防災公園測量等により、２億5837万6千円を繰り越した。

●令和６年度一般会計補正予算（専決）

・県知事選費用および、物価高騰対応重点地方創生臨時給付金の追加で、歳入歳出それぞれ、3839万3千円を追加し、48億9139万3千円の専決処分の補正を承認。

●令和６年度一般会計補正予算

・5846万9千円を追加し一般会計予算は、49億4986万2千円とした。

主な補正内容

・保健福祉防災センター改修工事（内部）1083万5千円。

段差をなくし、土足可能エリアの拡大

・ブルーベリー農園修繕料150万円。

河津ブルーベリーの里

・プレミアム商品券発行の商工会補助金3260万円。

・宿泊業経営力基盤強化事業976万3千円（チェックインシステム、ロボット化、社員寮改修費などを補助する）。

・観光協会補助金900万円新事務局長関連とループ橋下等のイベント費。

・特別な体験事業補助金として、新しい観光資源の開発費400万円。

ループ橋の下で演劇イベント（本年２月）

・LINE導入費211万5千円。（システム導入費と毎月の運用費）

・予防接種扶助費2002万7千円。予防接種法に基づくコロナ対策への扶助。

・橋梁長寿命化補修工事の見直し。3517万8千円の減。

・文化財保護費　南禅寺の収蔵図録修正と印刷。説明表示看板の修繕料。56万8千円。

本年7月に国の重要文化財に指定される予定の「ならんだの里」南禅寺の仏像群（谷津）

●令和６年度国民健康保険特別会計補正予算

マイナンバーカードと健康保険証の一体化に向けたシステム処理委託費として、203万9千円。

●その他令和６年度予算関係

介護保険特別会計、水道事業会計、温泉事業会計の主な補正予算の内容は、人事異動による人件費、会計年度任用職員の勤勉手当などを承認。

入札案件

●子育て支援センター駐車場整備工事　6347万円
東海建設（株）地盤改良とアスファルト舗装

●七滝駐車場公衆トイレ整備工事　6820万円
（株）大塩組　多目的トイレにはオストメイト（障害者の排泄装置）完備

●消防ポンプ自動車購入　2992万円
（株）畠山ポンプ製作所
第一分団ポンプ車入替。

議員説明会

5月24日に開催。

●住民税均等割りのみ課税世帯へ、一世帯当たり10万円の給付。物価上昇の負担増の軽減を図る。

●住民税非課税と均等割りのみ課税の世帯に児童一人あたり5万円の給付。

●プレミアム商品券の発行。一冊1万5千円分を1万円で販売。9月中旬頃、申し込み開始予定。

●橋梁長寿命化補修工事の変更。今年度の工事は令和元年に台風破損した天川橋の撤去工事を行い、他の2か所（中田橋・中村橋）の補修は次年度とした。

●南禅寺伝来諸像（所有者 谷津区）本年7月には、国の重要文化財に指定される見込みで谷津区と関係機関と連携し記念式典やイベント等計画する。（当件に関連する補正予算は、定例会の4ページ）

●人事　観光協会事務局長として、諸星正彦氏（元静岡第一テレビ社員）。

行政報告（抜粋）

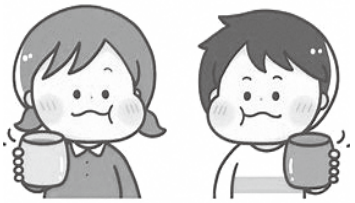
●河津桜まつりの消費税等未払いについて、実行委員会が、消費税、法人税、他合計348万6千円を申告納付した。町長として税の認識不足が原因であり深く反省する。

●地域おこし協力隊　地域農業活性化の任務を福沢宏幸氏に委嘱した。協力隊は、5名となった。

●閉校2小学校の利活用の答申を公共施設整備計画推進委員会より受けた。2校とも、避難所と防災資機材保管を継続することを最優先したうえで、**西小学校**は広く情報や意見を求めた上、プロポーザル方式にて一括貸出が適当。**東小学校**はドローン※を活用した事業で、町づくりに寄与する民間や団体を公募し貸付けることが適当。

※ドローンとは無人航空機で、遠隔操縦により飛行させ、人が行けない場所の映像を上空から静止して撮れる。（災害や捜索に活躍）。モノの運搬も可能。操縦には資格が必要。

●フッ化物洗口事業　小学1・2年生の希望者に毎週火曜日放課後に実施。

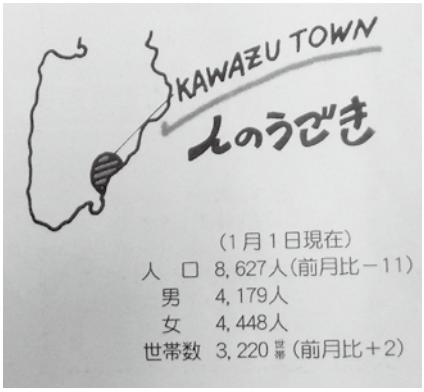


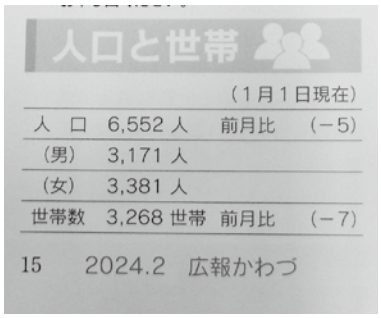
入札結果（令和６年４月から５月まで）

建設工事等の名称	受注者	契約金額（円）
筏場地区水道管布設工事	㈲寺林工務店	4,070,000
下河津漁港（見高地区）浚渫業務委託	山内組	4,279,000
浜・笹原街路樹管理業務委託	植信造園	4,840,000
町有自動車購入（その１）	㈲鈴木モータース	4,990,700
町有自動車購入（その２）	黒田自動車駅前工場	1,647,195
業務用ノートパソコン購入	㈲アクトコンピューター	3,408,900
令和７年度　消防ポンプ自動車（第１分団）購入	㈱畠山ポンプ製作所	29,920,000
普通河川藤ヶ野川暗渠補修設計業務委託	㈱ウインディーネットワーク	15,950,000
河津町立学校給食センター施設設備改修工事設計監理業務委託	一級建築士事務所野田建築設計事務所	5,698,000
河津町子育て支援センター駐車場整備工事	東海建設㈱	63,470,000
七滝駐車場公衆トイレ整備工事	㈱大塩組	68,200,000
地籍調査業務委託（谷津Ⅱ・見高Ⅰ）	㈲渡辺測量事務所	10,120,000

（入札案件の記述と一部重複表示あり）

町政を問う　一般質問





2004年と2024年の人口・世帯の対比（広報かわづ）

動画にて議会の様子がご覧頂けます

大川良樹（おおかわよしき）議員

質問「消滅可能性自治体」から逃れた感想は

答え 統計上の問題、ただ喜ぶものではない

質問 **前回に続き「消滅可能性自治体」を逃れた感想は。**

町長 統計上の問題で、ただ喜ぶのでは無く、実際は少子高齢化、人口減少が進んでおり、特にコロナを挟んでここ数年の出生数の減少が課題である。

質問 **結果を受け今後の行政運営の変化は。**

町長 働く世代の確保が重要、子育てや出生に関わる施策を繋ぎ、引続き持続可能な町として努力する。

質問 **人口動態推移を見て、行政区23区を維持できるのか、再編の考えは。**

町長 コンパクトでありながら暮らしやすい町づくりが重要、各地区の考えを尊重し町が指導するのではなく、実情に応じた地区どうしの協議が必要。

質問 **町職員採用の現状と今後の対策は。**

総務課長 本年度から町単独で中途募集を実施する。それにより年度途中の10月1日採用を行い、募集年齢も引き上げ22歳以上44歳以下の募集を行い、年2回の職員採用を行う。

質問 新たな子育て支援策は

答え ネウボラの強化

質問 **新たな子育て支援策の検討は。**

町長 子育て支援のなかでネウボラと言う、産前産後の過程を継続して支援する体制があり、それらを今後強化する必要があると考える。

質問 **小中学校では、どのような郷土愛教育が行われているのか。**

教育長 小中学校とも、「自分が住んでいる地域を誇りに思うのはどんな時か」、「自分が住んでいる郷土や地域の為に何ができるのか」等について考える機会を設け、各学年に応じた総合学習に取り組んでいる。結果、賀茂地域のなかでも15年後この地域に住んでいたいと思う生徒の割合が高い。

質問 **児童生徒が減少し町単独で学校が維持できるのか、組合立のような学校の在り方を考えることはあるのか。**

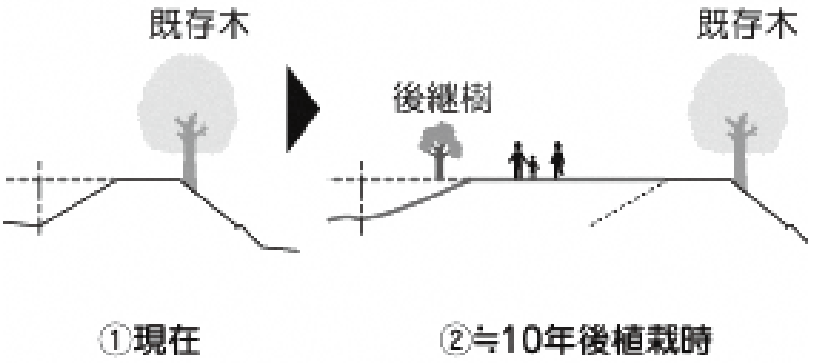
町長 ただ人数が減るから統合するのでなく河津らしい地域の風が行き交う学校づくりを進める。

教育長 組合立の考えは無い。

町政を問う　一般質問

桑原（くわはら）　猛（たけし）　議員

動画にて議会の様子がご覧頂けます



２列植栽による桜並木創出イメージ

質問　公営の残土処分場の考えは

答え　公的なものは考えていない

質問　公共工事の残土処理は現状どうなっているのか。

建設課長　残土処分は上佐ケ野地内、また工事間の利用を行い処分を行っており、公共工事の残土処分はできているので問題ない。

質問　町内工事の残土処分は賄えているというこ

とだが、近隣に処分場が少なくなっている現状があり、また伊豆縦貫自動車道の発生土を受け入れる花泉園跡地では目的工事以外の残土は受け入れが難しいとのことを踏まえ、財源確保も含め、公営の残土処分場の運営の考えはあるのか。

町長　今のところ町内業者からも困っているような話がないので考えていない。もし公営処分場を考えた場合、近隣の関係者の理解、安全性、環境保持など考慮しなければいけない。今のところ公的な処分場の運営は考えていない。

質問　堤防背後地埋め立ての推進の考えは

答え　県の河川整備計画の中で考慮されてくる

質問　残土処分場の不足は深刻な問題である。再利用の観点からも、また河津桜町づくり計画にもあるように、河津川堤防背後地の埋立ての推進を今一度考えないのか。

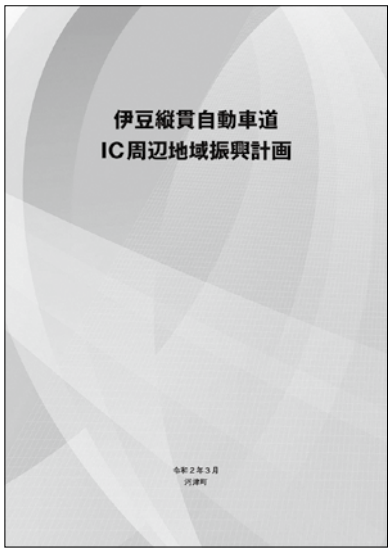
町長　県管理の河川であるので、町としては、背後地を埋めることにより河津桜の植栽が可能になると考えており、今後、県の河津川河川整備計画の中で考慮されてくるものと思っている。

産業振興課長　河津桜まちづくり計画は、河津町景観計画の中で取り組んでいく。河津桜の景観の維持、創出についての具体的政策内に、川沿いの桜並木の保護、整備については、検討するとなっているが現状、整備等は予定をしていない。

質問　桜並木維持のためにも、土地の利活用を含めた検討は。

町長　県との調整もあるため、どう進むかわからないが、できるだけ早い時期に対応できればと考えている。

町政を問う　一般質問



縦貫自動車道ＩＣ周辺地域振興計画・河津桜まちづくり計画

動画にて議会の様子がご覧頂けます

渡邉（わたなべ）　弘（ひろし）議員

伊豆縦貫自動車道の進捗状況と対策

浜峰線道路は地元区、地権者に説明

質問 **全線開通に向けてのスケジュールは。**

町長 天城峠道路区間２．６キロのうち月ケ瀬～茅野間５．７キロが事業採択され現在調査中。今後要望活動を続ける。

質問 **令和２年に伊豆縦貫道路ＩＣ周辺地域振興計画が策定された。９個の重点プロジェクトの推進状況は。推進会議の開催はされているのか。**

町長 逆川地区では都市と農村事業を行っています。旧西小学校跡地はみんなの廃校プロジェクトに参加して事業計画を進めたい。

企画調整課長 常設で推進会議は設置されていない。

質問 **計画ができたから終わりでなく検証と推進が大切。浜峰線の道路事業、観光整備事業などの推進は。**

建設課長 浜峰線道路は予備設計を実施し用地計画同路線を作成した。田中区総会において地権者出席のもと説明、意見交換を実施した。

河津桜まちづくり計画進捗状況

今年度から河津町景観計画で取り組む

質問 **河津桜まちづくり計画が10年間計画で策定された。町はこの計画をどう考えているか。**

町長 河津桜は大変重要な資源であり守っていくものと考えている。河津桜まちづくり計画においては今後景観計画の中で取り組んでいく。

質問 **計画の中に桜並木堤防の後背地の活用、新たな拠点整備事業として「河津桜公園」「河津桜原木公園」などの進捗状況は。**

町長 今年度から景観計画の中で取り組む。

産業振興課長 拠点整備事業は景観計画では４点ほど具体例があり、計画に沿って進めたい。

質問 **河津桜祭りの主催者は誰ですか。町民に寄与できる政策は考えられないか。**

町長 ふるさと納税などのキャンペーンに取り組み河津のアピールができ町民の誇りになる。

産業振興課長 主催者は実行委員会。構成団体は産業経済６団体。

町政を問う　一般質問

正木誠司（まさき せいじ）議員

動画にて議会の様子がご覧頂けます

非常持出袋	救急用品を含めて様々な用品が入った市販の防災セットを準備しましょう。
靴	阪神淡路大震災時には割れた窓ガラスで足の裏を怪我して避難が遅れる事象が多発しました。枕元に一足用意しましょう。
笛	家屋倒壊等で閉じ込められた際、救助者に存在を知らせるために笛は有効です。非常持出し袋に常備しましょう。
携帯トイレ	水洗トイレが使えなくなると衛生環境が悪くなり、感染症等のリスクが高くなります。最低でも１日３回分×７日分×家族の人数の備えをしましょう。
家具等の転倒防止処置	寝室の家具や電化製品の転倒防止対策をしましょう。
食料品・水	能登半島地震の教訓から道路寸断等により援助物資到着が遅れる事が想定されます。３～５日分の食料・水を常備しましょう。

自分の命は自分で守る。まずは準備を。

質問　地震災害における自助共助公助は

答え　自助共助公助全ての連携が重要

質問　**大規模地震における自助・共助・公助について町長の考えは。**

町長　まず自助は、行政からの周知や資料などが人ごとではなく自分の事として、とにかく怪我をしないで動けて生きていることがまず大事であると考えている。次に共助は、災害時に特に大事であり、その中心である地区の自主防の活動が重要であると考えている。最後に公助は、災害対策本部となる町の動きが重要で、その役割が十分果たせるような体制作りと迅速な対応が求められる。

防災課長　防災資機材、備蓄品の整備を継続的に進めている。

質問　**津波避難時の山へ登る通路や避難場所の整備は町が行うのか。**

町長　基本的に各地区で指定して行う事だと考えている。町として街灯の補助や、避難場所への矢印を道路上にプリントしている。

質問　交流人口関係人口増加策は

答え　ピンポイントでの施策は難しい

質問　**町の財政状況が厳しい中、効果的・効率的な関係人口・交流人口増加策として、町出身者やその子供世代をピンポイントにターゲットを絞り、町内施設への宿泊や飲食が出来るクーポン券を発行し、将来的な移住定住の推進や町内の経済活性化にもつながる事業は可能か。**

町長　河津町出身者のUターン対策として国や県から補助金や支援金が出るので、制度を上手く使ってUターンを広めていく事が大事だと思っている。また、河津町への宿泊者に対して抽選で地場産品を送り、宿泊者と第一次産業の方の恩恵につなげている。現状でピンポイントでの対応は難しいが、ふるさと納税の魅力ある産品として宿泊は大きな意味合いを持っているので、今後の糸口として協力隊を含めて検討していきたい。

他「伊豆縦貫道開通に伴う通行車両減少対策」１件

町政を問う　一般質問

動画にて議会の様子がご覧頂けます

北島正男（きたじままさお）議員

桜まつりの「おもてなし」は好意醸成へ大きな役割を持つ

質問　河津桜まつりの「おもてなし」をもっと

答え　町全体の「おもてなし」で受け入れたい

質問　**逆川地区の餅つきのふるまい、中学生の合唱、お写真撮りますや手作りガイドでの案内、踊り子さんと記念写真など、どれもうれしいおもてなし。「郷土愛をはぐくむ」ことにもなるこれらの事をもっと増やしたい。また、重要文化財になる、南禅寺観光のおもてなしの考えは。**

町長　挨拶や笑顔で手を振るお見送りだけでも効果があり、町全体の「おもてなし」で観光客を受け入れることが大事で、利益もさることながら町全体のＰＲや、伊豆地域のイメージ向上の連携をとる公的な役割もあると思う。

産業振興課長　南禅寺に関し、谷津区の意見を聞きつつサービスを考えたい。

質問　**毎年課題の渋滞緩和策の施策は。**

町長　民間の駐車場協力を更に図りたい。松崎町からフェリー＆バスの可能性も考えてみたい。

産業振興課長　伊豆急の「河津夜桜ビール列車」のようなピークの分散策を考えたい。

質問　役場の障害者雇用率は法律順守か

答え　今年の関係省庁への報告は「達成」である

質問　**総務課チームの努力と町長も関わる障害者に関連した様々なアクションを続けているが、おおもとの法定雇用率が未達の時期もある。日本の障害者雇用は、法律によって進められている。過日、厚労省は賀茂地区の一つの自治体に「勧告」をし、自治体名を公表した。これは大ごと捉えるべき問題。（静岡県では、他に一町と一教育委員会に勧告）自治体の法定雇用率は、今年の４月より引き上げられ２・８％になり、毎年６月にその任免を報告する義務があり河津町役場は何％と報告しますか。**

総務課長　法定雇用率は、昨年までは、２・６％、令和６年から３・０％で経過措置として令和８年までは２・８％とされ、６月１日現在３・０１％で役場として法定雇用率を満たしている。今後も、関係機関と連携し、雇用促進に努めていく。

他、再質問となる「放課後児童クラブの環境改善として空調機器の設置」一件

町政を問う　一般質問

渡邊昌昭（わたなべまさあき）議員

動画にて議会の様子がご覧頂けます

沢田地区の休憩所からの満開の河津桜

質問　河津桜の保存と将来の桜まつりの発展は

答え　新たな拠点に防災公園を協議している

質問　今年の河津桜まつりの観光客が想定を下回ったが原因と取り組み状況は。

町長　期間中の後半の悪天候や開花時期の遅れが要因で入れ込みが以前の７割くらいになった。今回は官公庁の補助金を取り組みつつ、インバウンドを対象とした旅行商品の取り組みを行った。以前に比べ開花状況がリアルに発信されることで花見客が集中する。

質問　苗木が販売され、各地で桜まつりが開催されるが客がそちらに行っているのではないか。また新たな河津桜の拠点を創出できないか。

町長　誘客数に影響はあるかもしれないが名前を広めるメリットもある。ブランド苗木を創ることも必要。自主的に植栽し管理する場所もある。

産業振興課長　区有地、民有地での植栽希望があれば河津桜苗木の提供を行っていく。新たな拠点として、桜公園は防災公園を協議し進めている。

質問　地域役員の負担軽減については

答え　検討し削減できるものは見直したい

質問　町内各地域には区長をはじめとして各種の役員がいるが少子高齢化の進む中、その負担軽減や削減は考えないのか。

町長　町全体でも重要な問題と意識している。防災力の面からも問題がある。今後も地区役員を維持できるよう対応を検討願いたい。

総務課長　これまで町から地域にお願いしている役員等の見直しも感じている。地域の方々と相談しながら変更できるものは変更していく。

質問　町の委託している委員会や協議会は多くあるがこれらの見直しはできないか。

町長　町民の声を行政に活かすことから協議をいただいている。人数的な見直しができるものがあれば検討したい。

総務課長　令和６年度の各種委員会は３４５名を委嘱している。重要な意見を伺うためご協力を願いたい。見直しができるものがあれば今後検討していきたい。

第1常任委員会

4月19日
町有財産の活用について協議

5月23日
町有財産の活用について協議

5月28日
・河津町共同募金委員会運営委員会
・社会福祉法人河津町社会福祉協議会理事会　委員長出席

5月30日
河津町民生委員推薦会　委員長・副委員長出席

河津桜についての月例会

第2常任委員会

3月18日
河津町文化の家運営協議会　委員長出席

3月19日
第２回河津町景観計画策定委員会　委員長出席

3月25日
河津町学校給食運営審議会　委員長・副委員長出席

3月26日
第２回河津町社会教育委員会　委員長出席

4月22日
河津町自衛隊協力会理事会　委員長出席

5月20日
河津町自衛隊協力会総会　委員長出席

5月29日
河津町学校給食運営審議会　副委員長出席

議員月例会

能登半島地震の応援活動について

4月22日

◆講師
下田消防署
次長　笹本雅彦氏
消防司令　正木紀行氏

◆参加者
河津町議会議員
河津町　防災士
役場防災課職員
民生児童委員
災害ボランティアコーディネーター

◆講義内容
下田消防本部活動内容
・奥能登消防本部珠洲消防署管内救急支援活動
・航空搬送拠点医療ユニットからの転院搬送
・倒壊家屋救助活動現場での災害現場待機
＊下田消防本部隊として
搬送件数　10件
搬送人員　12人

◆伊豆半島が被災した場合に考えられる事
・道路寸断により災害救助隊や援助物資の到着が遅れる。
・地域住民が協力しての初動の救助活動が重要だが、余震による二次災害に注意が必要
・各地域での共同での助け合いが重要
・水洗トイレが使えなくなるので簡易トイレの用意が必須（7日間分で一人あたり20～25回分）

能登半島地震についての月例会

河津桜について

5月24日

◆講師
㈱加藤樹木医事務所
代表取締役
加藤正通氏

サクラの分類、日本桜の種類、自然交雑種、栽培品種の違い、河津桜がオオシマザクラとカンヒザクラの自然交雑種であることや増殖され今日に至ることを聞いた。
さらに品種の未登録であることや植栽第一世代が樹齢50年を超え、初老に差し掛かっている点、河川法により河川区域での植栽が禁止されているなど多くの問題があり、全国で「河津桜発祥の地」としての管理技術や実施方法を注視しているとの説明を受けた。

議会改革特別委員会

町政のチェック機能をしっかり果たすため、より良い議会運営を
議員10人全員で協議し、改善すべき課題を抽出し解決を図っていく。

議会改革

令和６年３月の第１回定例会以降、４月19日、５月30日に特別委員会を開催。

協議中のテーマ

【町民による議会モニター制度の制定】（案）

◇名称　・議会改革サポーター　・河津町をよくする会　・河津町向上委員会
・議会サポーターズクラブ　・議会モニター

◇趣旨・目的

- 町の人達の町への思いや議員への希望・要望の可視化
- 議会運営へのアドバイス、改善点の共通理解や具現化
- 議員発案のバックボーンや活動の参考にする
- モニター活動や意見交換会参加等により、町政や議会への興味醸成
- 議員の仕事を知る事により議会活動を身近に感じてもらう

◇メンバー構成

- 18歳以上で公務員以外の町民から選出
- 構成人員の年代はどうするか。構成人員は何人くらいにするか。男女比率は。
- 選出はどのように行うか。公募・議員の推薦等々

◇活動内容

- 定例会の傍聴（年一回必須）　・定例会運営や内容について意見や提案の提出
- 意見交換会への参加　・議会だより編集活動への参加

◇謝礼　＊交通費と薄謝

ー　委員長意見　ー

- 次回委員会までに各自が（案）について検討
- 次回委員会でモニター制度の骨格を決定する
- ９月定例会で議長へ報告とする

議会改革特別委員会／委員長 渡邉弘議員・副委員長 宮崎啓次議員・委員 全議員

議会のうごき

遠藤嘉規 議長

5月21日、東京国際フォーラムにおいて令和6年度全国町村議会議長・副議長研修が行われ、出席した。

研修会では議員のなり手不足対策やハラスメント対策、将来の地方議会の実現などについて3氏から講義を受けた。

・議員のなり手不足は「住民自治の危機」
大正大学教授
江藤俊昭氏

・ハラスメント「自治体議員が注意すべきポイント」
弁護士　帖佐直美氏

・「将来の地方議会を担うのは誰か？若者、女性、勤労者が参画する地方議会の実現」
慶応大学教授
谷口尚子氏

議会議長会事業・議長に要請のあった諸会合等　12件
町議会活動　7件
常任委員会活動　19件
一部事務組合活動　2件
例月出納検査結果報告　3件
その他委員会活動　17件

議会の詳しい活動は、Facebookに随時掲載しています。

Facebookで
議会活動を発信中

一部事務組合

下田メディカルセンター

議員勉強会開催
〇5月7日

一部事務組合下田メディカルセンター第2会議室において、賀茂健康福祉センター地域医療課地域医療班長伊藤隆祐氏を講師に迎え、議員勉強会を実施した。

メディカルセンターのありかたを調査研究する中で、賀茂医療圏の現状を把握しなければ、今後のあるべき姿が見えてこないのではとの意見があり、勉強会を行い現状に対する意見交換を行った。

下田地区消防組合

全員協議会開催
〇6月3日

駿東伊豆消防組合及び下田地区消防組合を構成する12市町長協議の報告について

応急手当講習

コロナ禍により開催されなかった応急手当講習を組合議員が救急救命隊員から心肺蘇生法及びAEDの使い方について講習を受けた。

受講中の組合議員

議会の新しい仲間

書記　土屋　翔

4月1日付けの人事異動に伴い、河津町議会事務局書記となりました土屋です。3年間の東河環境センター派遣を終え久しぶりの河津町勤務となりましたが、遠藤議長をはじめ議員の皆様に温かく迎え入れていただきました。

この議会だよりの編集にも携わっており、河津町議会の活動がより多くの方に伝わるよう努めていきたいと思います。

議会だより第102号
読者アンケート

締め切り
８月末日必着

読者の皆様のご意見を紙面に反映したく、下記のアンケートにぜひご協力ください。
各質問の回答をご記入の上、ＦＡＸ又はメール、郵送（封筒）にて河津町議会事務局宛にお送りください。または、下記ＱＲコードから、ＷＥＢ回答できます。

スマホで簡単にアンケート回答ができます

● 送付先：〒413-0595　静岡県賀茂郡河津町田中212－2
河津町役場 議会事務局
※切手代などは各自ご負担願います。

Ｑ１　「興味を引いた」あるいは「役に立った」記事は？

Ｑ２　「議会だより」の記事で目を通したものは？（□にレ点をつけてください。複数回答可）

□Ｐ．２～Ｐ．３　中学生アンケート
□Ｐ．４～Ｐ．５　定例会
□Ｐ．６～Ｐ．11　一般質問
□Ｐ．12　常任委員会
□Ｐ．13　議会改革特別委員会
□Ｐ．14　議会のうごき・一部事務組合ほか
□Ｐ．16　私の一言・編集後記

Ｑ３　議会だよりに対する満足度は、どのくらいですか？（□にレ点をつけてください。）

□１．大変満足　□２．まあまあ満足　□３．もう少し　□４．不満

Ｑ４　議会だよりの記事への感想、取り上げてほしいテーマなどがあればご記入ください。

抽選で５名様に「河津踊り子温泉会館入浴券」プレゼント‼

アンケート回答者の中から抽選で、５名様に「河津踊り子温泉会館入浴券」を差し上げます。
なお、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

お名前（任意）	
ご住所（任意）	
連絡先（任意）	

無記名でも回答いただけます。ただし、プレゼントの対象にはなりません。

お寄せいただきました情報は、議会だよりで紹介させていただく場合があります。また取材、原稿依頼等をさせていただく場合は、広報常任委員会より改めてご連絡差し上げます。ここでいただきました個人情報は、上記の目的以外に使用することはございません。

議会事務局　TEL0558－34－1957

FAX 番号 0558−34−1405
E-mail:gikai@town.kawazu.shizuoka.jp

～私の一言～

「河津町商工会これからの繋がり」

河津町商工会
会長　土屋　典之

河津町商工会長に就任して３ヶ月が経ちますが、地域の商工業者のリーダーとして、関係者の皆様に支えられながら、現在に至っている状況です。

全国に 1,700弱ある商工会は、商工会法により認可された公益法人で、地域の事業者が業種に関わりなく会員となり、お互いの事業や地域の発展のために総合的な活動を行う団体です。

河津町商工会は、プレミアム商品券・工事券、河津寄って軽トラ市などの事業をはじめ、様々な事業を推進しており、青年部・女性部でも精力的な活動を行っております。これらは、会員そして町民・行政のご理解とご協力があったからと考えております。

時代の変化とともに、商工会として様々な困難を乗り越えなければならない場面があると考えられますが、皆様のご理解・ご協力の下、「繋がりを大切に‼」どうぞご支援をよろしくお願い致します。

軽トラ市抽選会の様子

「フッ化物洗口　これまでの感謝とこれから」

学校歯科医
中村屋歯科医院
中村　清徳

河津小学校が２年目を迎え新たな歴史が１歩ずつ作られています。歯科保健の場面でも幼稚園、保育園で行われていたむし歯予防のためのフッ化物洗口が１・２年生の希望者で始められました。20年以上小学校、幼稚園、保育園で学校歯科医を務められてきた庄内邦久先生をはじめ、町長、教育長、町の職員、学校の教職員、保護者の皆様、子どもたちの健康と成長を支えるすべての人たちの積み重ねの上に今日があります。多くの困難もあったかと思いますが今回のスタートには町議会での議論、ご答弁が大きな力になりました。継続と発展のために私も歯科保健の専門家として知識、情報の提供やサポートを皆さんと協力していきたいと思います。

中村屋歯科医院のスタッフ

編集後記

今号では初の試みとして、中学生に読者アンケートに参加してもらいました。本文中にもありますが、３年後に選挙権を持つ３年生に少しでも議会に興味を持ってもらおうと試みました。

真摯に取り組んでいただき、いろいろな意見をいただきました。

今後の議会活動また紙面づくりに反映していきます。（桑）

広報常任委員会
委員長　桑原　猛
副委員長　北島正男
委員　正木誠司
〃　大川良樹
〃　渡邊昌昭

次回定例会は９月開催予定です。

発行：河津町議会　編集：広報常任委員会　〒413-0595 静岡県賀茂郡河津町田中 212　☎ 0558 (34) 1957　gikai@town.kawazu.shizuoka.jp

議　会　傍　聴　歓　迎　し　て　お　り　ま　す。